



「2019 全日本スーパーフォーミュラ選手権 JMS P.MU/CERUMO・INGING 参戦体制発表会」開催レポート

春の陽気に包まれた4月6日(土)、山口県下松市に昨年オープンしたクルマサービスの集合エリア Felix88(フェリックスエイティエイト)内にある、GR Garage 周南 INGING で「2019 全日本スーパーフォーミュラ選手権 JMS P.MU/CERUMO・INGING 参戦体制発表会」が開催された。

Felix88 はオープンからちょうど1年がたち、レースのパブリックビューイング開催をはじめカフェの併設や毎週家族向けの様々なイベントもおこなわれ、訪れた人がゆっくり寛げる場所として地元で人気のスポットとなっている。当日もオープン直後からファンが訪れ、インギングの歴史を振り返るパネルとレーシングスーツの展示や、ベールに包まれたニューマシンの発表を今か今かと楽しみに見て回るファン達で店内はにぎわった。

開始時刻の14時になると、発表会のMCを務めるシャーリー半田氏が登場し、インギングの歴史を振り返るショートムービーが流れた後、遂に主役の3人が登場する。すでに体制は発表されているが、今シーズンも監督を務める立川祐路、チームのエースとしてチャンピオン奪還を目指す石浦宏明、昨年の全日本 F3 選手権で圧倒的な強さでチャンピオンを獲得しステップアップを果たした期待のルーキー坪井翔が登場し、会場中からは大きな歓声と拍手が沸き起こった。

まずはマシンカラーリングの発表からおこなわれ、ニューマシンのお披露目に会場はもう一度大きな拍手に包まれた。マシンのカラーリングは近年のインギングのベースデザインを継承しつつ、描かれているマスコットキャラクターの山口美羽の衣装が一新されている。

その後はトークショーや質疑応答などがおこなわれ、ドライバーの頭部保護のために SF19 から新たに搭載された HALO について、乗り降りが大変だという笑いを交えたトークから始まり、新車になったこと・ルーキーの坪井が加入したことについて話題が広がった。坪井自身も「チャンピオンチームに入ることに良い意味でプレッシャーを感じている。ルーキーだと言いつても言い訳できない状況ですが、非常に楽しみです。」と前向きに語り、石浦も「昨年まで使っていた SF14 の初年度の時も誰が抜け出すかという中で、自分達は2台で切磋琢磨しあって良い成績を出してきました。」と、チームの結束力に自信をみせ、「今年はゼッケン1を取り戻す。ここまで高めてきた実力を見せられるよう頑張ります」と力強く語った。監督の立川も「いつも山口に多くのファンが駆けつけてくれて嬉しいです。今年はタイトルを取り返し、またチャンピオンの報告をできるよう戻ってきます」と、地元のファン達に向けて誓った。

スーパーフォーミュラの開幕戦は4月20・21日に三重県鈴鹿サーキットで開催される。JMS P.MU/CERUMO・INGING は新体制のもと、チャンピオン奪還に向けて戦っていく。

